

松本先生は日本で唯一の本物の医者です。

## 「肝硬変 闘病記 2」 匿名希望 (ご主人記述)

53 歳

2016 年 12 月 4 日

平成 28 年 6 月 両足の浮腫および腹水再発症。家内が病名を大学病院でつけられてからの顛末は [P a r t 1](#) に書かせていただいた通りです。福島の大震災の放射能の影響を大きく疑っていますが、今まで何も病気にかかったことのない妻が突然の余命 1 年宣告。大震災で全てを失い経済面や娘の学校など生活基盤の全てを 0 から組み立てざるをえなくなっていた私達にはまさしく絶望とも言える無慈悲な宣告でした。それでもなんとかしなければいけない。家内を人間らしく生かしてやりたい。そして死なせてやりたい。そんな強い焦燥感からパソコンをたたき松本医院に幸運にもたどりついたわけです。

松本先生の「死なないよ、大丈夫。」の一言には思わず「へっ!？」という感じで意味をかみしめるのに時間がかかりました。それからが私達の闘いというよりも病と真摯に向き合う時間の始まりでした。今では先生のホームページを何度も読み返し、N a o k i さんの解説も家族で共有しています。私は鍼灸師です。大震災前はひとりで毎日 200 人近く治療することもありました。西洋医学の医者となんどもコラゴできないものかと試みましたが、でも日本の医者では無理でした。とても知識が浅いのです。とても狭いのです。それが今回先生のお話やホームページを拝見させていただくうちに私の中ですとんと腑に落ちました。

「漢方等東洋医学は代替医療なんかやない。経験処方の中で全てがわかっとる。医者はなにもできない。治すのはあんたやで。病名なんてなんも価値がない。」などなど・・・あげていけばきりがありません。正直めちゃくちゃパワフルでいつも圧倒されてしまいますが、こんな正直な医者があるのだと来院の度に驚いています。「日本でただ一人の医者や!」というのはお世辞抜きにそう思います。私もできるなら先生のそばで鍼灸の腕をふるってみたい。正直そう思います。松本医院の求人を見て正直、ゆらぎます。先生の言葉を借りれば「今の世の中本当にみんないわゆる医者という衣をかぶった詐欺師に洗脳されまくっています。」そんな中本当に自分の体に向き合っている死生観の成熟した大人が少なく、全てを医者に委ねている、医者がなんとかしてくれるかのような幼稚な迷妄にとらわれている人間が多く、鍼灸治療をしていてもそのあたりの洗

脳を解くことから治療を始めなければならないのです。最近松本医院のホームページやNaokiさんのブログを読むように言っています。しかしながらそれらを理解できないような感性ならばどんどん患者は離れていきます。Naokiさんのような患者に出会えた先生を正直うらやましくも思います。それでいいんや。後悔しない。まったく困らない。先生の考えは単純明快です。家内の病がきっかけで先生に出会えたわけですが、鍼灸師としていつも勉強させていただいております。

今回、また腹水などの症状がでて、すぐ先生に相談しました。焦りはありませんでした。何か起きていただけのこと。その何かはしっかりと先生に教えていただいております。出していただいた漢方をいただき、旦那として腹を決めて毎日毎日2時間ほど鍼灸を行い、食事療法も行いました。おかげさまで2ヵ月で状態はもとに戻りました。今、家内は何も問題なく家族の中で一番元気なくらい状態で生活しています。血液検査値を見るとまだ何か起きています。のは確かですが、先生の「大丈夫や！」の言葉を信じて、かと言ってその言葉に依存することなくこれからも家族で家内の命に向き合っていきます。

経済的にまだまだ立ち直ったとは言えず、まだまだコンスタントに先生に会いにうかがえず毎度怒られてばかりですが、その荒い言葉の裏の細やかな優しさにいつもとても感謝しています。なかなか表面のキャラだけを見てはわかりづらいというかわからないのですが、しっかり感性を尖らせれば日本で唯一の本物の医者というのはわかります。「尊敬するやろ！」そんな台詞自分で言える人はおらんやろと普通は思いますが、話やホームページの理論を拝見していればよ～わかります。そら、こんだけの知識と勉強してれば脱帽です。

日本は欧米に比べ寝たきりが多い、癌も増えている、死亡者数もうなぎ上り・・・こんな単純なからくり、普通ならだれでも気づくやろ、でも気づけないくらいアホにアホが洗脳されまくっているのが現実。それを解く鍵が松本医院のホームページにあります。

何度も言いますが、この病院ほど東西医学の併用を行っている、真の東洋医学を理解している病院はありません。治してくれる、なんて依存した甘い気持ちではおつきあいさせていただけない厳しい病院ですが。(笑)「病はわしが治すんと違うで〜。」まさしくその通りです！

「病不自信の処に有り」です。これからも何卒よろしくおねがいします。